

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公表番号】特表2015-503638(P2015-503638A)

【公表日】平成27年2月2日(2015.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-007

【出願番号】特願2014-549165(P2014-549165)

【国際特許分類】

C 08 L 33/02 (2006.01)

C 08 L 33/14 (2006.01)

C 08 K 5/3412 (2006.01)

C 08 K 7/20 (2006.01)

C 08 K 7/22 (2006.01)

【F I】

C 08 L 33/02

C 08 L 33/14

C 08 K 5/3412

C 08 K 7/20

C 08 K 7/22

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 第1のモル分率の酸官能性ポリマー部分を含む第1の(メタ)アクリルポリマーと、第2のモル分率の、前記酸官能性ポリマー部分とイオン性架橋を形成可能な部分を含む第2の(メタ)アクリルポリマーと、を含むイオン性架橋ポリマーマトリックス、及び

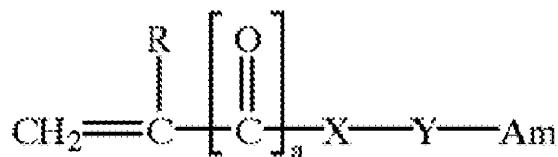
(b) 2~50重量%の中空ガラス微小球、

を含む、熱可逆性混合物であって、

第1のモル分率及び第2のモル分率が、前記ポリマーマトリックス内の繰り返し単位の合計モル数を基準とし、

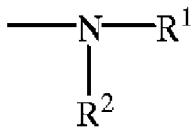
前記第2の(メタ)アクリルポリマーが、以下の式の塩基性モノマーから誘導される塩基性ポリマー部分を含む、熱可逆性混合物。

【化1】



(式中、aは、0又は1であり、Rは、H-及びCH₃-から選択され、Xは、-O-及び-NH-から選択され、Yは、二価結合基であり、Amは、以下の式の三級アミン断片であり、

【化2】



R¹ 及び R² は、アルキル基、アリール基、シクロアルキル基、及びアレニル基から選択されるか、複素環を形成している。)

【請求項2】

請求項1に記載の混合物を含む芯材に結合された第1のスキン層を含む、成形性複合物。

【請求項3】

請求項2に記載の成形性複合物を含む、成形された複合物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

別の態様では、本開示は、前述の混合物のいずれかを含む芯材に結合された第1のスキン層を含む、成形性複合物を提供する。いくつかの実施形態では、成形性複合物は、芯材に結合された第2のスキン層を更に含み、第1のスキン層と第2のスキン層とは、芯材により分離される。いくつかの実施形態では、第1のスキン層は金属を含む。いくつかの実施形態では、第1のスキン層は熱可塑性ポリマーを含む。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

本開示の熱成形性混合物は、例えば、成形性複合物などの、様々な用途において有用である。成形性複合物には、感圧接着テープ、特に圧着フォームテープなどの材料が挙げられる。これらの成形性複合物は、芯材に結合された第1のスキン層を含み、芯材は、前述の熱成形性混合物のいずれかを含む。いくつかの実施形態では、成形性複合物は、芯材に結合された第2のスキン層も含み、第1のスキン層と第2のスキン層とは、芯材により分離されるか、又は第1のスキン層及び第2のスキン層は、それらの間に芯材を有する。いくつかの実施形態では、第1のスキン層は金属を含む。いくつかの実施形態では、第1のスキン層は熱可塑性ポリマーを含む。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

以下は、本開示の様々な実施形態、及び実施形態の組み合わせである。

1.

(a)

少なくとも1つの(メタ)アクリルポリマーと、

第1のモル分率の酸官能性ポリマーと、

第2のモル分率の、酸官能性ポリマーとイオン性架橋を形成可能な部分と、を含む、イ

オン性架橋ポリマーマトリックスであって、

第1のモル分率及び第2のモル分率が、ポリマーマトリックス内の繰り返し単位の合計モル数に基づく、イオン性架橋ポリマーマトリックスと、

(b) 2~50重量%の微小球と、を含む、熱可逆性混合物。

2. 少なくとも1つの(メタ)アクリルポリマーが、酸官能性ポリマーと、酸官能性ポリマーとイオン性架橋を形成可能な部分と、から誘導される第1の(メタ)アクリルポリマーを含む、実施形態1に記載の混合物。

3. 少なくとも1つの(メタ)アクリルポリマーが、酸官能性ポリマーを含む第1の(メタ)アクリルポリマーと、酸官能性ポリマーとイオン性架橋を形成可能な部分を含む第2のポリマーと、を含む、実施形態1に記載の混合物。

4. 第2のポリマーが(メタ)アクリルポリマーである、実施形態3に記載の混合物。

5. 酸官能性ポリマーとイオン性架橋を形成可能な部分が、非求核性アミン官能性モノマーから誘導されるポリマーからなる群から選択される、実施形態3又は4に記載の混合物。

6. 反応性モノマーが、置換アジリジンからなる群から選択される、実施形態2に記載の混合物。

7. 酸性官能性モノマーが、エチレン性不飽和カルボン酸からなる群から選択される、実施形態1~6のいずれか1つに記載の混合物。

8. 酸性官能性ポリマーが、(メタ)アクリル酸モノマーと(メタ)アクリル酸エステルモノマーとの混合物を含む、実施形態1~7のいずれか1つに記載の混合物。

9. (メタ)アクリル酸エステルモノマーが、アルキル基に2~14個の炭素原子を有するアルキル(メタ)アクリレートである、実施形態8に記載の混合物。

10. 少なくとも1.5重量%の微小球を含む、実施形態1~9のいずれか1つに記載の混合物。

11. 微小球がガラス微小球である、実施形態1~10のいずれか1つに記載の混合物。

12. 微小球が膨張性ポリマー微小球である、実施形態1~9のいずれか1つに記載の混合物。

13. 永久的架橋を有する少なくとも一部の架橋ポリマーマトリックスを更に含む、実施形態1~12のいずれか1つに記載の混合物。

14. 実施形態1~13のいずれか1つに記載の混合物を含む芯材に結合された第1のスキン層を含む、成形性複合物。

15. 芯材に結合された第2のスキン層を更に含み、第1のスキン層と第2のスキン層とが、芯材により分離される、実施形態14に記載の成形性複合物。

16. 第1のスキン層が金属を含む、実施形態14又は15に記載の成形性複合物。

17. 第1のスキン層が熱可塑性ポリマーを含む、実施形態14又は15に記載の成形性複合物。

18. 実施形態14~17のいずれか1つに記載の成形性複合物を含む、成形された複合物。

19. 成形された複合物が冷間成形されたものである、実施形態18に記載の成形された複合物。

20. 成形された複合物が熱成形されたものである、実施形態18に記載の成形された複合物。